

「令和の魅力と活力ある県立高校のあり方検討委員会」の検討報告

- 1 開催日程と内容
- | | | |
|-----|------------|---|
| 第6回 | 令和4年12月15日 | ・普職比率について
・学区のあり方について
・県立高校の学びの改革について（骨子素案） |
| 第7回 | 令和5年1月25日 | ・令和2年度再編統合の評価について
・県立高校の学びの改革について（骨子素案） |

2 検討内容と主な意見

○普職比率についての主な意見

- ・平成に入ってからこの比率で推移しており、前回のアンケート結果でも、普職比率は現状のままで良いのではないかという声が多かった。そういう意味では、今の普職比率に収斂しているのではないかと思う。
- ・普通系学科と職業系学科の比率が66対34くらいから、10%以上変われば「変わっているな」と思うが、まだ誤差の範囲ぐらいと感じた。
- ・志願倍率が普通系1.03倍、職業系1.03倍ということで、普職比率が今の段階でどちらかに偏っているということはないので、適切ではないかと思う。

○学区のあり方についての主な意見

- ・通学区について、現状で何か制約になっているようには見えない。現状のままでいいのではないか。
- ・全県一区という考えについては反対である。前回のアンケート結果にあったように、子どもたちや保護者は通学時間を2番目の理由に挙げて高校を選択している。
- ・魅力のある高校づくりをしていく中で、全県一区にしなから子どもたちを集めていくようなことができれば、もっと面白い高校づくりができると感じている。
- ・その学校で学びたいと考えている生徒にとって、通学時間は非常に大きい要素だと思う。通学を考える際には、公共交通機関の整備状況といった通学環境を考慮しながら設定されることが基本ではないかと思う。

○「県立高校の学びの改革に向けて（骨子素案）」について

ア 令和の魅力と活力ある県立高校づくりの目指す姿(案)

◇魅力ある高校教育を通した「真の幸せ（ウェルビーイング）」の向上

～学びたい、学んでよかったと思える高校づくり～

- I 生徒の可能性を引き出し、自分らしく未来を切り拓いていくための、確かな資質能力と意欲の育成
- II 社会の持続的な発展を担うための、主体的に課題を発見し解決する力や他者と協働して解決策を生み出す力の育成
- III 自己と他者を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、よりよい社会を築こうとする態度の育成

イ 今後の魅力と活力ある県立高校づくりに向けた6つの方向性(案)

- I 各学校の特色や魅力をさらに深化させるための取組みを重点的に推進
- II 地域・大学・企業や学校間等の連携による取組みを推進
- III ICTの活用による学びの充実を推進
- IV グローバルに活躍する生徒の育成を推進
- V 魅力と活力ある学校づくりを推進するための教育環境の整備
- VI 配置や定員、再編統合にかかる具体的な検討

ウ 会議での主な意見

- ・高校教育に必要なものが3つあると考えている。一つ目はSDGsの考え方に基づくこと、二つ目は主体性を向上させる取組み、三つ目が多様性、ダイバーシティの取組み。目指す姿（案）に、この3つをしっかりと取り込んでいく内容が入っているので、この考え方でぜひお願いしたい。
- ・目指す姿（案）にある項目は、小学校から中学校までの義務教育の9年間を通して、子どもたちに身につけて欲しい力や目指す方向性に合致している。目指す方向性として、小学校、中学校そして高校教育という富山県としての一貫した流れを感じ取ることができる表現になっている。

- ・ウェルビーイングは「真の幸せ」という言葉に直訳されてしまうが、心理学的にも社会的にも非常に深い意味がある概念であり、この概念はこれからの教育にはなくてはならないものであると思う。
- ・課題解決型の教育においては、自分1人ではなく他者と協働しながら課題解決していくという力を富山県教育としてしっかりと育てていく、そして送り出していくことが大事である。
- ・この改革に向けての骨子がまとまれば、こうしたことも踏まえながら、改めて各学校の教育方針、教育の方向性を考えていくことになると感じている。

○令和2年度再編統合の評価について

◇高校生活に関するアンケート調査結果の主な概要について

①満足度について（生徒対象：全科共通）

- ・いずれの学校も共通して、「生徒同士の関係」の満足度が高い。

②達成度について（生徒対象：全科共通）

- ・多くの学校で、今までの高校生活において「仲間と協調する力を伸ばすこと」「一般教養・知識を増やすこと」について、達成できているという回答が多い。

③保護者満足度（保護者対象）

- ・いずれの学校も7割以上の満足度である。[入善(88%) 富山北部(75%) 高岡(85%) 南砺福野(76%)]

④学校規模のメリット（教員対象）

- ・いずれの学校も「部活動の活性化」「学校行事の活性化」の回答が多い。

⑤効果があるもの（教員対象）

- ・入善 フィールドワークや各種機関等と連携した教育活動の実施(85%)
- ・富山北部 大学や企業と連携した教育活動の実施(68%)
- ・高岡 基礎学力を充実するための教育活動の実施(63%)
- ・南砺福野 施設・設備の充実(71%)

◇中学校からの聴き取り結果について

- ・大学進学や就職などができ、学力や希望に合わせて進路選択ができる。
- ・部活動の数が増えたことが、良さになっている。
- ・様々な学科が集まり、一体となって取り組むので魅力的である。たくさんの人が集まって活動できることは大変良いと考えている。
- ・学力層の幅が広がったのではないかと考えている保護者もいる。

◇再編校からの聴き取り結果について

- ・地域住民と生徒の交流機会が増え、地域活性化に貢献している。
- ・学区唯一の総合制高校として、大変特色のある学校となった。
- ・「学力向上」だけでなく、「人間性を育む」教育活動をこれまで以上に進めることができるようになった。
- ・実習棟の整備により、実習や部活動において、一層充実した教育活動を行えるようになった。

◇会議での主な意見

- ・特色ある学科や部活動、或いは伝統を残して、再編対象校の良いところがうまく取り込まれており、中学生や保護者にとって影響が最小限にとどめられたような良い印象がある。
- ・多様性のある仲間と社会性を磨き、切磋琢磨することが高校時代には必要。そういう意味で学校規模を大きくすることや一定規模を維持するための再編は、相対的、全体的な視点から成果があったと感じている。
- ・これまでの伝統の積み重ねの上に、さらに新しい魅力が生まれてきているように映った。それぞれの学びや思いに応じたカリキュラムや学校の特色の実現に繋がっていると思う。
- ・新高校に学科やコース、部活動など、それぞれの学校の特色が残されて、魅力が増え、選択肢が増えて良かったという一方で、学力差が大きくなったと感じられるという意見が気になる。

3 今後の予定

2月中に第8回の検討委員会を開催し、報告書案を提示予定としている。

県立高校の学びの改革に向けて（骨子素案）

・ Society5.0時代の到来 ・ 技術革新、グローバル化の進展 ・ 少子化の進行

1 背景

多様な人々と協働しながら社会的変化を乗り越え、自分の未来を切り拓き、社会の創り手となる人材の育成が必要

本県の現状と課題

- ◎生徒一人一人の個性を伸ばす魅力ある高校づくり
(ものづくり中核校、探究科学科、総合選択制等の設置)
- ◎中学卒業予定者数の減少に伴う学級減による小規模校の増加
- ◎学級減に伴う1学科1学級の職業科への対応
- ◎多様な生徒へのきめ細かな対応

富山県教育振興基本計画【3つの横断的取組み】

- ◎「課題解決型の教育」の展開
- ◎「ICT教育」の推進
- ◎「チーム富山教育」の実現

2 これまでの取組み

◎授業改善の推進

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導方法の改善(教師力向上支援事業、教師の学び支援事業)
- ・課題解決型学習の推進
(とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業)

◎ICTを活用した教育の推進

- ・1人1台タブレットの活用
- ・各校のICTを活用した授業を公開し、授業実践研究を推進
- ・「オンライン教育利活用ガイドブック」を作成
- ・情報通信技術支援員の派遣

◎富山型キャリア教育

- ・社会へ羽ばたく「17歳の挑戦」
- ・高校生職業教育プログラム
- ・キャリア教育アドバイザー配置

◎英語・グローバル教育

- ・研究拠点校での研究・実践
- ・各種コンテストの実施
- ・とやま型スーパーグローバルハイスクール事業
- ・高等学校生徒海外派遣事業

◎とやまの高校生ライフプラン教育充実事業

- ◎とやま科学オリンピックの実施
- ◎ふるさと学習の実施

普通系学科

- ・生徒の実態を踏まえた選択科目の充実
- ・少人数指導など個に応じた指導の充実
- ・地域の課題をテーマにするなどして、課題発見・課題解決能力の育成をねらいとする探究型の学習を推進
- ・SSH、SGHの取組み

総合学科

- ・キャリア教育の重視(1年次から「産業社会と人間」などで、将来の生き方や進路について考えていく)
- ・テーマ性をもった選択科目群「系列」の開設などによる多様な教育課程の編成

職業系専門学科

- ・インターンシップの実施や企業の技術者の招聘等による専門性の高い授業の展開
- ・とやまの高校生マイスター育成事業
- ・各種資格の取得に向けた積極的な取組み

定時制・通信制

- ・多様な生徒に対応したきめ細かな指導
- ・多部制による弾力的な学びの対応
- ・スクールカウンセラーの配置、教育相談体制の充実

3 令和の魅力と活力ある県立高校づくりの目指す姿（案）

◇魅力ある高校教育を通じた「真の幸せ（ウェルビーイング）」の向上 ～学びたい、学んでよかったと思える高校づくり～

- I 生徒の可能性を引き出し、自分らしく未来を切り拓いていくための、確かな資質能力と意欲の育成
- II 社会の持続的な発展を担うための、主体的に課題を発見し解決する力や他者と協働して解決策を生み出す力の育成
- III 自己と他者を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、よりよい社会を築こうとする態度の育成

4 今後の魅力と活力ある県立高校づくりに向けた6つの方向性と各学科等の取組み（案）

- I 各学校の特色や魅力をさらに深化させるための取組みを重点的に推進
- II 地域・大学・企業や学校間等の連携による取組みを推進
- III ICTの活用による学びの充実を推進
- IV グローバルに活躍する生徒の育成を推進
- V 魅力と活力ある学校づくりを推進するための教育環境の整備
- VI 配置や定員、再編統合にかかる具体的な検討

- ◎特色・魅力ある教育課程の実現に向けたカリキュラムマネジメントの推進
- ◎学びの魅力や特色について、効果的な情報発信

- ◎ICTの効果的な活用等による個別最適な学びと協働的な学びの推進
- ◎個別最適な学びや協働的な学び等の教育活動を担う教職員を支援する取組みの推進

普通系学科

- ① 論理的思考力や問題解決能力の育成に向けたプロジェクト学習の推進
- ② 文理の枠を超えた複合的な課題解決を通して、新たな価値を創造するための資質・能力の育成に向けたSTEAM教育の推進
- ③ 幅広い学力層に対応したきめ細かな指導の充実
- ④ 地域や大学、産業界との連携・協働の積極的な取組みの推進
- ⑤ インターンシップの実施などキャリア教育の推進
- ⑥ 普通系学科の魅力化・特色化をさらに進めるため、学科やコースの改編などについての検討

総合学科

- ① 生徒の興味・関心、進路指導等に関わる系列等について検証しつつ、地域の特性を生かした系列等の整備についての検討
- ② 系列での学びを通じた専門性のさらなる向上と、生徒が自己の興味関心に応じて主体的に選択して学習できるという特性を生かした課題探究型の学びの充実
- ③ 地域や大学等との連携や外部の専門人材の活用等のさらなる充実
- ④ 地域や民間企業でのフィールドワークを生かした課題解決型の探究学習の推進
- ⑤ 全県的な視野に立った総合学科のある学校の配置バランス等の検討

職業系専門学科

- ① 基礎的・基本的な専門知識・技術を身につけるとともに、企業や大学との連携、先端技術の活用などを旨とした活動の推進
- ② 生徒が地元企業や実際の社会の状況を深く理解できるよう、インターンシップなどを通じた企業等との連携のさらなる推進
- ③ 他学科や地域と連携した協働的な学びの推進と課題探究型の学びの充実
- ④ 最新の設備を活用し、DXに対応できる即戦力となる生徒の育成
- ⑤ 生徒や社会のニーズに対応した学科やコースの改編などについての検討

定時制・通信制

- ① 多様な生徒に対応した習熟度別などのクラス編成による授業の推進
- ② 多様な生徒に対応した学び直しもできる教育課程の推進
- ③ 通級指導の充実
- ④ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの専門的な指導員を積極的に活用した生徒支援体制の推進
- ⑤ ジョブサポートティーチャーによる就職指導のさらなる充実

高校再編や学科・コースの見直しなどの基本的な方針についての新たな検討会議における具体的な検討

様々なタイプの学校・学科等

◎中高一貫教育校

◎国際バカロレア認定校

◎多様な生徒に対応した支援体制 などについての研究、検討